

第17回世界湖沼会議への参加および 湖沼水環境保全に関する自治体連携の設立について

1 世界湖沼会議とは

1984年に滋賀県の提唱により開催された「世界湖沼環境会議」の後身として、研究者・行政・NGO等市民の三者が一堂に会し、世界の湖沼及び流域の環境問題やそれらの解決に向けて議論や意見交換を行うために、これまで概ね2年ごとに、世界10ヶ国で、16回開催されてきた。

1) 第17回世界湖沼会議の概要

テーマ：人と湖沼の共生—持続可能な生態系サービスを目指して—

会期：平成30年10月15日(月)～19日(金)

会場：茨城県(つくば国際会議場ほか)

主催：茨城県、公益財団法人国際湖沼環境委員会(ILEC)

参加者：4,000人(見込み)(国内3,000人、国外1,000人)

2) 滋賀県の取組

参加：知事、県議会議長および議員、県職員、研究者、NPO等関係者等一般県民、企業関係者、学生(小・中・高校生、大学生)等
(計100人程度を想定)

発表等：知事が開会式にて来賓あいさつを行うほか、職員や県民等が湖沼セッション、分科会、学生セッション等で、琵琶湖での取組の発表を行う。

展示：県ブースを出展し、県、市町、NPO等の取組を紹介する。
また、県内企業もブースを出展する。

その他：滋賀県主催の自治体連携ワークショップを開催する。

県民参加の促進について：

県とILECが共同で、県内在住者や県内に通学する者を対象に、参加登録料、旅費等の参加にかかる経費を助成する制度を設け、県ホームページや広報誌プラスワン等を通じて県民参加の促進を行っている。

【助成額】

一般県民：上限4万円/一人当たり(必要経費の半額相当)×40名分

小・中・高校生：上限2.8万円/一人当たり(必要経費の2/3相当額)×20名分

2 湖沼水環境保全に関する自治体連携の設立について

琵琶湖においては、下水道の整備やこだわり農業の推進等の様々な対策を講じているが、近年は、在来魚介類の減少、水草や外来水生植物の繁茂など生態系の課題が顕在化している。同様の課題は、他の湖沼でも生じている。

これらの課題を解決し、湖沼生態系がもたらす恵みを回復し、維持し、貴重な地域資源として享受する「人と湖沼の共生」が求められている。

そこで、同様の課題を抱える5自治体*が主体となり「湖沼水環境保全に関する自治体連携」を設立し、知見の共有、事例の学び合い、課題への理解の深堀り、共同調査の実施等をおこなうことにより、必要となる施策の高度化を図ります。また、連携により得られた知見・情報を国と共有し、各湖沼における取組の円滑な推進を図ることとする。

世界湖沼会議の場においては、以下のとおり 1) 湖沼水環境保全に関する自治体連携設立の知事共同記者発表の実施 2) ワークショップの開催を予定している。

※茨城県、長野県、滋賀県、鳥取県、島根県

1) 湖沼水環境保全に関する自治体連携設立の知事共同記者発表の実施について

日時：平成30年10月16日（火）12:00～12:15

場所：つくば国際会議場4階 407会議室

出席予定者：

①	茨城県	大井川 和彦	知事	霞ヶ浦
②	長野県	中島 恵理	副知事	諏訪湖・野尻湖
③	滋賀県	三日月 大造	知事	琵琶湖
④	鳥取県	平井 伸治	知事	中海
⑤	島根県	吉山 治	東京事務所長	中海・宍道湖

2) 世界湖沼会議ワークショップの開催について

日時：平成30年10月16日（火）18:00～20:00

場所：つくば国際会議場 中会議室201B（40名程度参加可）

テーマ：シジミの棲める湖沼環境を目指した自治体の取組

内容：関係自治体が実施しているこれまでの取組、取組の結果見えてきた課題等について参加者で共有を図り、シジミをはじめとする湖沼がもたらす恵みを回復するために今後必要となる取組について議論する。

【参考】

○滋賀県からの出席者等の概要

<会議プログラム>

プログラム	日程	出席者等	内容
開会式	15日 午前	三日月知事 川島議長	来賓挨拶 来賓出席
湖沼セッション (国内湖沼)	16日 午後	琵琶湖政策 担当理事	琵琶湖における水環境保全活動の歴史と 新たな取組について発表
		IVUSA* 代表	学生ボランティアによるオオバナミズキン パイ除去活動について発表
分科会	16日 18日	県職員、NP O関係者、研 究者等	テーマ別の9つの分科会で、琵琶湖での 取組や研究成果を発表（滋賀県から20 名が発表予定）
ワークショップ (滋賀県主催)	16日	琵琶湖政策 担当理事	生態系に配慮した新たな水質管理につい て発表
ワークショップ (環境省主催)	17日	琵琶湖政策 課	琵琶湖総合保全の取組について発表 (主催者と調整中)

※NPO法人国際ボランティア学生協会

<その他の予定>

プログラム	日程	出席者等	内容
学生会議	14日	県内の小・ 中・高校生	水環境保全活動について発表・ディスカ ッション（滋賀県から20名が発表予定）
有識者意見交換 会（ILEC主催）	14日	琵琶湖環境 部長	琵琶湖および世界の湖沼保全に向けての 取組について発表
意見交換会	15日	川島議長 びわっこ大使	滋賀県議会議長と学生会議等に参加した びわっこ大使との意見交換

○滋賀県議会からの参加

琵琶湖対策特別委員会が視察を行う。（10月16日午後）

○会議に向けての気運醸成について

平成30年8月24日（金）に、環びわ湖大学・地域コンソーシアム会議室にて、第17回世界湖沼会議BIWAKOプレ会議を開催し、滋賀県からの参加者による取組発表や意見交換を行い、気運の醸成を図った。

【添付】：第17回世界湖沼会議チラシ



第17回世界湖沼会議

17th World Lake Conference (Lake Kasumigaura, Ibaraki, Japan, 2018)

いばらき霞ヶ浦
2018

人と湖沼の共生
— 持続可能な生態系サービスを目指して —

会期 2018年
10月15日(月) ▶ 19日(金)
会場 つくば国際会議場ほか

会議構成

基調講演、政策フォーラム、湖沼セッション、霞ヶ浦セッション、分科会（口頭・ポスター）、展示会、エクスカーション、ワークショップ、学生会議等

参加のご案内

公式ホームページよりお申し込みいただき、参加登録料をお支払いください。
詳しくは公式ホームページをご覧ください。

○募集・参加登録締切

- 5/ 7(月) ワークショップ企画募集
- 5/ 9(水) 分科会（口頭・ポスター）発表募集
- 5/ 9(水) 霞ヶ浦セッション（ポスター）発表募集
- 5/31(木) 展示会出展者募集
- 7/16(月) 早期参加登録
- 9/14(金) 事前参加登録（当日参加可）

○参加登録料

	通し参加料金（単位：円）			一日参加料金（単位：円）		
	早期	通常	当日	事前	当日	
期 間	2/5 ~7/16	7/17 ~9/14	10/14 ~10/19	2/5 ~9/14	10/14 ~10/19	
区 分	一般	16,000	18,000	20,000	4,500 【県民1,000】	5,000 【県民1,000】
	学生	10,000		12,000	2,500 【県民1,000】	3,000 【県民1,000】
	同伴者	4,000			1,000	

- (1) 茨城県民に対する茨城県民特別金を設定します。ただし、茨城県民特別金の参加者（茨城県内に居住、通勤若しくは通学している方）は、分科会での発表はできません。またコングレスキット等の配布もありません。
- (2) 途上国からの参加者に対する途上国料金を設定します。

詳しくは第17回世界湖沼会議公式ホームページをご覧ください。

<http://www.wlc17ibaraki.jp/>

茨城県 世界湖沼会議

検索

主催 茨城県、公益財団法人国際湖沼環境委員会（ILEC）

共催 国土交通省、環境省、農林水産省、土浦市、つくば市、かすみがうら市、鉾田市、茨城町、水戸市、霞ヶ浦問題協議会、ラムサール条約登録湿地ひめまの会

第17回世界湖沼会議（いばらき霞ヶ浦2018）

○スケジュール

日程		区分		午前	午後	夜	終日
会議前	5月3日(木) ～10月13日(土)	サテライト会場 環境関連行事					
	10月14日(日)	学生会議 登録受付				歓迎 パーティー	-
第17回世界湖沼会議 (いばらき霞ヶ浦2018)	10月15日(月)	開会式	いばらき霞ヶ浦賞 授与式	基調講演	湖沼セッション (国外湖沼)	レセプション	展示会
	10月16日(火)	政策フォーラム		湖沼セッション(国内湖沼)		ワークショップ (自主企画)	
	10月17日(水)	エクスカージョン(視察)				ワークショップ (自主企画)	-
	10月18日(木)	霞ヶ浦セッション 分科会				参加者交流会	展示会
	10月19日(金)	会議総括		閉会式	-		
会議後	10月20日(土) ～10月21日(日)	オプションツアー					

○主な会議プログラム

基調講演	講演者 三村 信男 茨城大学長
政策フォーラム	発表者 大井川和彦 茨城県知事 国内の政策責任者3名(国土交通省, 環境省, 農林水産省) 国外の政策責任者1～2名(国際連合環境計画等)
湖沼セッション	国内外の主要な湖沼の流域関係者が「人と湖沼の共生」をテーマに討議します。
霞ヶ浦セッション	霞ヶ浦流域関係者が霞ヶ浦の未来像について討議します。
分科会	研究者や市民団体等が研究や活動成果の発表・討議を行います。 第1分科会 生物多様性と生物資源 第2分科会 淡水資源の持続的利用 第3分科会 湖沼の水質と生態系機能 第4分科会 水辺地域の歴史と文化 第5分科会 流域活動と物質循環 第6分科会 科学的知見に基づくモニタリング 第7分科会 生態系サービスの持続可能な利用に向けた対策・技術 第8分科会 市民活動と環境学習 第9分科会 統合的湖沼流域管理(ILBM)
展示会	企業や研究機関等の先進的な実例や活動内容等を展示します。

問い合わせ先

第17回世界湖沼会議（いばらき霞ヶ浦2018）
実行委員会事務局
〒310-8555 茨城県水戸市笠原町978番6
茨城県生活環境部環境対策課内
TEL：029-301-2995 FAX：029-301-2969
Email：wlc17@pref.ibaraki.lg.jp

第17回世界湖沼会議（いばらき霞ヶ浦2018）
運営事務局
〒102-0075 東京都千代田区三番町2
株式会社コンベンションリンクージ内
TEL：03-3263-8695 FAX：03-3263-8693
Email：cl-wlc@c-linkage.co.jp